

## 単元構想を出発点にした授業デザイン



- \*単元(題材)を通して「どのような資質・能力を育成するのか」
- \*単元を貫く学習課題やめあての設定と問題解決等の学習過程の工夫による主体的学びの創出
- \*子どもが考える場面と教師が教える場面、個での学びと協働による学びの効果的な組み立て

一単位時間の授業づくり

### 1\_ゴールの明確化と学びの道筋の想定

- \*「何ができるようになればよいか」、そのために「何をさせるのか」
- \*学習の見通しをもたせたり、意欲を高めたりする「めあて」や「課題」の設定
- \*学びの成果を実感し、学んだことや問題意識等を次につなげる「まとめ」や「振り返り」の実施

### 2\_習熟の程度に応じた指導

- \*具体的な評価規準の設定・・・どのような子どもの姿があれば目標の達成と判断できるか
- \*「努力を要する状況」の子どもに対する手立ての工夫

### 3\_板書の構造化

- \*思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書

## 授業の充実を図る生徒指導の3機能

(1)自己存在感の感受

授業中、自分が大切にされると感じられるようにする。

(2)共感的な人間関係の育成

他者の意見や立場を尊重して考えることができるようにする。

(3)自己決定の場の提供

自ら考え、選択し、決定する等の経験ができるようにする。